

第88回渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和6年6月3日（月）午後7時00分～
会場：渋川ほっとプラザ4階 大会議室

講演 「認知症患者の口腔ケアの実際」

講師 群馬県歯科衛生士会 口腔ケア学会

群馬大学昭和地区医事課

藤村 季子 氏

「認知症患者の口腔ケアの実際」と題してお話をいただいた今回の講演。とても印象深かったことが、ご本人・ご家族（介助者）お互いに無理のない口腔ケアの大切さでした。口腔ケアをしたくても、認知症の方は、口に触れられることへの抵抗感から拒否されたり、怒ってしまったりすることもあるとのこと。すると、ご家族・介助者もイライラしてしまい悪循環となってしまうそうです。ご本人・介助者共に、心穏やかに口腔ケアができることが大切。講演は、そのための工夫やポイントが盛りだくさんでした。

実技では、先生のお手本のもと、参加者も手袋をして、ご自分の口腔内を触っていただきました。目線の合わせ方、お顔に触れる時の手技、指の角度や、指を入れる時のコツなどなど…すべての動作に心地よい口腔ケアのための工夫がありました。実際に自分の口で行なってみたことで、こんな風に触れるところの感覚かな、という経験になったのではないでしょうか。

認知症の方への継続した口腔ケアのための先生のお言葉。

「口の中に食べかすがなければ良い、そのくらいの気持ちで大丈夫」「無理しなくて大丈夫」そんな声掛けは、気持ちが軽くなる気がしました。また、定期的な歯科受診をすることで、口腔内に触れられる事への抵抗感が少なくなるとのこと。高齢の方に限らず、歯科の定期受診の大切さを改めて感じました。



【講演資料より抜粋】	
ゆっくり動く	
大きな動きをしない	
無理をしない	
事故に気をつける	
手技は手早く！	

【次回 第89回渋川摂食嚥下研究会の予定】

開催について：8月2日（火）午後7時～／渋川医療センター 大会議室

演題：「低栄養の診断基準：G L I M基準について」（仮）

講師：海老名総合病院

管理栄養士 大橋 由奈 氏

※会場が異なりますので、ご注意ください。